

ニュース・パトロール

奈義町 構造改善事業を開始

勝田郡奈義町では上町川地区の構造改善事業に 12 月 1 日から着手した。総事業費 9,000 万円で、今年度から 2 ヶ年計画でもって酪農団地の造成などにより当地区の年間農業所得の 1 戸当り平均 30 万円を最小限 70 万円程度に引き上げようとするものである。

(山陽新聞 12 月 3 日)

1 戸平均 18.6 万円 38 年度の県下農業生産所得

農林省岡山統計調査事務所は 12 月 4 日、岡山県下の昭和 38 年の農業生産額及び生産所得のまとめを発表した。それによると 38 年の農業粗生産額は 581 億 5,400 万円で前年より 30 億 1,600 万円減少、また農業総生産所得では 212 億 2,300 万円で、これも 49 億 4,100 万円減少している。従って農家 1 戸当りの農業生産所得は 18 万 6,000 円で前年より 2 万 7,000 円も少なくなっている。

畜産部門では 126 億 7,800 万円で前年より 2% 減をみている。

(山陽新聞 12 月 6 日)

北酪農協 乳牛導入に助成金

岡山県北部酪農協では優良乳牛導入推進助成規定を定め、11 月にさかのぼって実施することにした。

同農協組合員で管内からの購入牛には 1 頭につき 3,000 円、管外、県外からの購入には 5,000 円を助成する。これは規模拡大と優良品種導入に力を入れる組合員のより一層の改善を図るための援助をするために作られた。

(山陽新聞 12 月 17 日)

第 3 回岡山県枝肉共進会 好成績をおさめる

第 3 回岡山県枝肉共進会は昨年暮 12 月 19 日から 20 日までの 3 日間岡山市網ノ浜の岡山県営食肉市場で肉牛 50 頭、肉豚 50 頭 (25 セット) が出品されて行われた。

全般的にみて、肉牛は体型、資質がよくなり肥育技術の向上により肉付きもよかった。

肉豚においては、大部分のものが標準体重で、歩留りも 70% 以上で大へんよかった。

消費流通問題を学ぶ 津山で畜産流通、経営、技術講演会

岡山県津山農林事務所と岡山県畜産会の共催で、津山市において流通、経営技術に関する畜産講演会が 1 月 12、13 日の両日開かれた。

これは昨今、畜産経営の体質改善、畜産物の消費、流通面の改善が強く叫ばれている点に関して学ぼうとしたもので、講師に福光全販連畜産部長、太田雪印乳業大阪市乳アイスクリーム事業部長、安東総畜指導課長、凶師酪試場長、森谷酪試第 3 課長、岩本養鶏試技師を招いた。